

**第3次鶴岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
2018年次報告書**

1. 計画概要

平成30年（2018年）4月に策定した第3次鶴岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下、『計画』といいます。）の概要は以下の通りです。

(1) 計画期間

2018年～2030年（13年間）

(2) 計画目標

計画目標は以下の通りです。

（排出量単位：t-CO₂）

	基準	短期目標	目標
年	2013	2022	2030
排出量	43,084.4	37,914.3	25,850.6

2. 温室効果ガスの算定方法

(1) 対象の温室効果ガス

計画で対象としている温室効果ガスは以下の通りです。

対象	説明
二酸化炭素 (CO ₂)	エネルギー起源：電気の使用や暖房用灯油、自動車用ガソリンなどの使用により排出される。排出量が多いため、温室効果ガスの中では温室効果への影響が大きい。 非エネルギー起源：廃棄物の焼却などにより排出。
メタン (CH ₄)	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、廃棄物の埋め立て、終末処理場等による下水等処理、稲作、家畜の腸内発酵などにより排出。
一酸化二窒素 (N ₂ O)	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、終末処理場等による下水等処理などにより排出。

(2) 算定方法

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算定を行います。

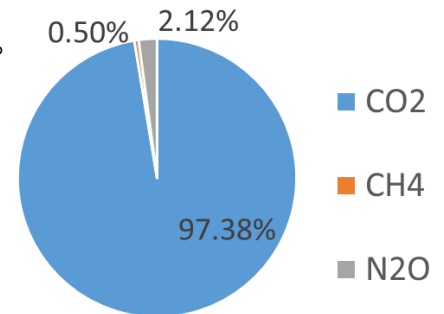
グラフや表内の数値は、四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

3. 温室効果ガスの排出状況

(1) 2018年度温室効果ガスの排出量

2018年度の温室効果ガス排出量は以下の通りです。

	t/年	t-CO2 換算/年
二酸化炭素(CO2)	60,514.2	60,514.2
メタン(CH4)	12.4	310.0
一酸化二窒素(N2O)	4.4	1,315.1
合計	-	62,139.3



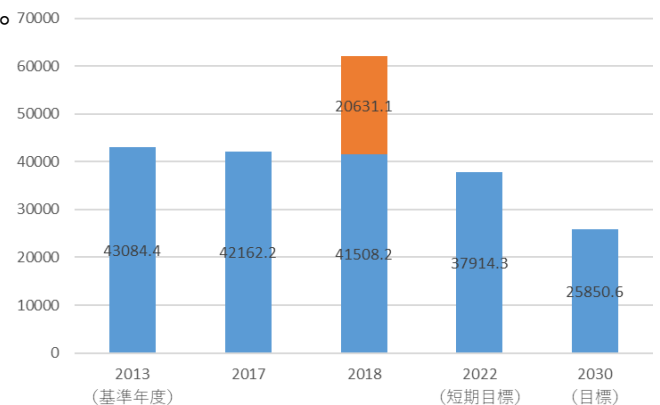
温室効果ガス排出量の割合（t-CO2換算）としては、二酸化炭素が全体の97.38%を占め、次いで一酸化二窒素が2.12%、その後メタンが0.50%となっております。

(2) 計画目標の達成状況

計画目標の達成状況は以下の通りです。

(単位:t-CO2/年)

年度	排出量
2013(基準年度)	43,084.4
2017	42,162.2
2018	62,139.3
2022(短期目標)	37,914.3
2030(目標)	25,850.6



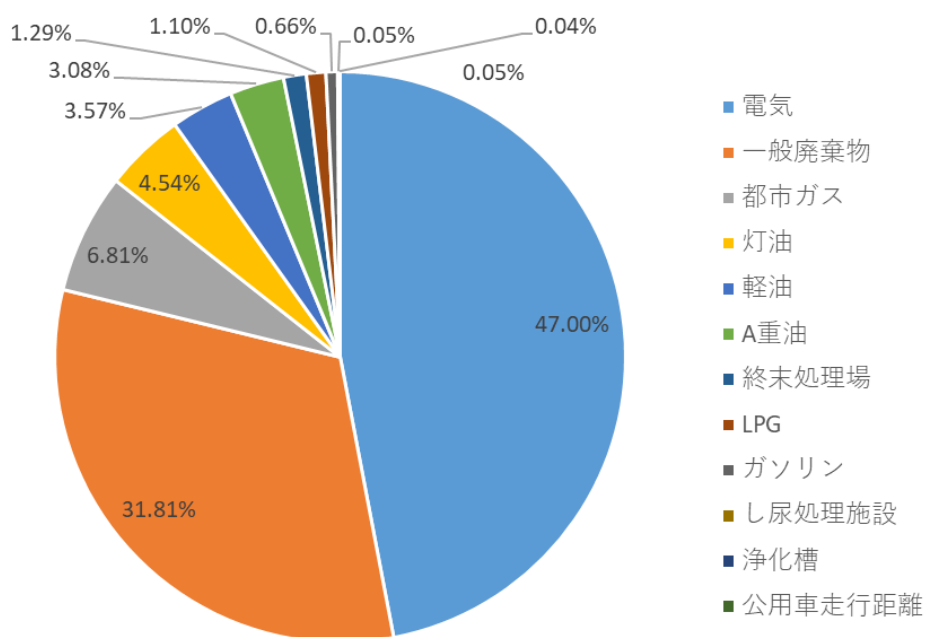
2017年度と比較して大幅に増加している原因は、一般廃棄物の焼却や終末処理場等による下水等処理時における温室効果ガスの排出量（上グラフにおける赤い部分）を追加したためです。計画では、『市が行うすべての事務・事業』を対象としているため、計画の中間見直し時に基準年度や目標の数値については修正を行います。

(3) エネルギー等内訳

エネルギー等の内訳については以下の通りです。なお2017年度と比較して大幅に増加している原因（一般廃棄物の焼却や終末処理場等による下水等処理時における温室効果ガスの排出量）は黄色部分です。

温室効果ガス排出量の割合（t-CO2換算）としては、電気が全体の47.00%を占め、次いで一般廃棄物の焼却が31.81%、その後都市ガスが6.81%、灯油が4.54%となっております。

エネルギー等	単位	使用量等	合計					
				CO2		CH4		N2O
				t-CO2	kg-CH4	t-CO2	kg-N2O	t-CO2
ガソリン	L	176,238.3	408.9	408.9	0.0	0.0	0.0	0.0
灯油	L	1,131,059.3	2,823.1	2,816.3	157.8	3.9	9.5	2.8
軽油	L	860,297.7	2,219.6	2,219.6	0.0	0.0	0.0	0.0
A重油	L	706,421.8	1,914.8	1,914.4	0.0	0.0	1.3	0.4
LPG	kg	227,738.8	684.5	683.2	42.3	1.1	0.8	0.2
都市ガス	m3	1,886,572.3	4,229.2	4,225.6	125.7	3.1	1.7	0.5
電気	kWh	55,946,497.7	29,204.1	29,204.1	0.0	0.0	0.0	0.0
し尿処理施設	m3	26,797.3	32.9	0.0	1018.3	25.5	24.9	7.4
終末処理場	m3	11,514,910.0	802.4	0.0	10133.1	253.3	1842.4	549.0
浄化槽	月*人槽	17,040.0	30.7	0.0	837.8	20.9	32.7	9.7
一般廃棄物	t	41,139.9	19,765.2	19,042.2	41.0	1.0	2422.7	722.0
公用車走行距離	km	2,977,205.9	24.0	0.0	42.7	1.1	77.0	22.9
			62,139.3	60514.2	12398.7	310.0	4413.0	1315.1



温室効果ガス排出量の割合としては、電気（29,204.1t-CO₂、47.00%）や一般廃棄物の焼却（19,765.2t-CO₂、31.81%）で約8割を占めることから、市有施設における省エネ機器・再生可能エネルギー導入等により、電気等エネルギーの消費を抑え、一般廃棄物の焼却量を削減できるようにごみの分別・資源化の徹底を推進して、更なる温室効果ガス削減に取り組んでまいります。